

感染症対策の考え方

「新しい生活様式」では、新型コロナウイルスによる感染症を予防する努力が求められます。そのため、測定活動（体力測定等）の際は以下の点を厳守し、感染症対策を行っています。

- 感染が疑われるような症状を持つ者を活動に参加させない努力
- 感染者が活動に参加していた場合にも、他者へ感染を拡大させない努力
- 感染症対策についての共通理解をつくる
- 常に最新の情報へと更新する

測定活動を受け入れるにあたり、参加される選手や関係者へ下記の条件や状況を必ず説明し、理解と了承を得た上で実施しています。

また、測定活動へ参加する場合は「[HPSCにおける新型コロナウイルス感染症に関する感染防止策](https://www.jpnsport.go.jp/hpsc/Portals/0/COVID19_1218.pdf)」の要件を満たすこととしています。 ※ https://www.jpnsport.go.jp/hpsc/Portals/0/COVID19_1218.pdf

- 測定活動の感染リスク
⇒各測定等における感染リスクを説明し、理解と了承を得る。
- 感染症対策への協力
⇒選手や関係者に対して感染症対策への協力を依頼する。
- 受け入れ中止への理解
⇒感染者や疑いの者が発生した場合にはやむを得ず中止する可能性を理解してもらう。

感染症対策の基本的な方策

感染症対策のために、以下の考え方に則って測定活動における感染症対策マニュアルを作成し、以下の点に留意して測定活動を実施しています。

飛沫感染：飛沫感染予防の取り組み

- 測定活動の参加者はマスクを着用する。
- 2m以上の距離を保つよう努力する。
- 選手がマスクを外し、かつ2m以上の距離が保てない場合は、測定者は更にフェイスシールドとガウンを着用する。アクリル板や仕切りを設置する。

接触感染：接触感染予防の取り組み

- 人同士の接触を避ける。
- 人同士の接触を避けられない場合、測定者はゴム手袋を着用する（選手ごとに取り換える）。
- 口や目、鼻を触れないようにする。

換気について

- 測定中は可能な限り窓を開けて実施する。
- CO2濃度計を用いて換気状態をモニタリングする（基準：1000ppm以下※事務所衛生基準規則参照）。

消毒について

- 測定機器や測定室の触れやすい箇所は選手ごとに消毒をする（エタノール濃度70%～95%）。
- 洗濯や消毒ができない/しにくい物品の使用は避ける。
⇒使用が避けられない場合はウイルスが不活性になるまで使い回しをしない。

チェックリスト

感染者が発覚した際に濃厚接触者を追跡するために、飛沫の多い測定や接触を伴う測定では、選手ごとに測定者の行為等を記録し、一定期間保管している。

- | | |
|-------------|--------------------------|
| ■ 測定実施日 | □ マスク・フェイスシールド・ガウン・手袋の着用 |
| ■ 測定開始/終了時刻 | □ 選手との距離を2m以上保ったかどうか |
| ■ 測定項目（種目） | □ 選手に接触する前後の消毒実施 |
| ■ 測定担当者名 | □ 換気の実施 |
| ■ 選手名 | □ 機器や測定室の消毒実施 |
| | □ ゴム手袋交換の実施 |

2021年1月 スポーツ科学部・測定技術グループ